



## 第4回市民ボランティア交流まつり

### 『市民ボランティア交流まつり』に参加しました！

ボランティア支援センター 水口

今回で第4回目となる市民ボランティア交流まつりが、2月15日(日)ヒロロスクエアで開催されました。交流まつりは、市民参画センターの利用団体やボランティア団体などが、それぞれ展示・発表・販売・体験を行って、みなさんと交流するイベントです。当日は悪天候に関わらず37団体が参加し、来場者は昨年より多かったそうです。確かに、暑いと感じるほどの熱気が漂う盛り上がりでした！

交流まつりでは、環境問題に取り組む団体が展示スペースでバルーンアートを配ったり、発展途上国の支援に取り組む団体がフェアトレード商品を販売したり、障がいを持つかたの就業所となっているパン屋・お菓子屋さんさんが勢ぞろいし、どれを買おうか迷ったり…本当にたくさんの団体の活動を知ることが出来ました。私は男女共同参画についてのクイズにチャレンジして、全問正解出来ましたが、早い者勝ちで目当ての景品を手に入れられなかったので、来年はもっと早く挑戦しようと思っています！

今回、私は実施委員会の事務局として参加しましたが、参加者のかたは普段ボランティアをしているだけあって、準備・片づけなど手伝ってくれるかたが多いことに感動しました！交流まつりのスタッフも、ボランティアのかたのおかげで成り立っています。ボランティアスタッフのみなさん、どうもありがとうございました。来年度もよりスムーズな運営が出来るように、私も事務局としてサポートを頑張りたいと思います！



### 『ボランティアと私』

バルーンアーティスト はまちゃん

先般、「市民ボランティア交流まつり」がヒロロスクエアで開催されました。今年で4回目だが、前のボランティア・デーからだとも10回は参加しているはずだ。

私がボランティアに興味を持ったのは、20数年前に町会の役員で子供会を担当してからです。その中で細長い風船で犬や剣、花などを作って子供たちにプレゼントし喜ばれて、ボランティア活動の楽しさを知ったように思います。風船をプレゼントして「ありがとう」と言われたことを肴に飲む晩酌の美味しさを皆さんにもぜひ伝えたいです。

時には子供たちのリクエストに応えられず力の無さを感じたこともありますが、大盛況すぎて4時間ぶっ通しで対応して、爪の間から血が滲んだことも今は思い出の一つです。

これからも、あと何年出来るか分かりませんが、もう少し続けて行くつもりです。美味しい酒を飲む為にも…。



# 献血から生まれる“愛の贈り物”

弘前献血ルーム「CoCoSA」はヒロロの隣、大町タウンビル2階にあります。献血ルームに一度も行ったことのないかたは、ビルの2階ということもあり雰囲気分らず躊躇しているかも知れませんね。

エスカレーターに乗り2階へ・・・ドアを開けると広々とした素敵なカフェのような待合室があります。まず、①受付、血圧測定 ②タッチパネルによる質問への回答 ③医師による問診 ④ヘモグロビン濃度測定(採血基準を満たしているかの測定)、血液型事前判定 ⑤採血 ⑥休憩～ 採血後はカフェのような待合室で様々なドリンクやお菓子、アイスクリームまでいただけます。

献血には2種類あり、血液のすべての成分を採血する「全血献血」(200mL:400mL)で10～15分。血しょうや血小板だけを採血し残りは体に戻す「成分献血」は採血量に応じて40～90分程度かかります。ベッドには個々にモニターが付いていますので、テレビ番組を観ながらリラックスして行うことができます。血液は、まだ人工的に造れず、長い期間の保存もできないそうです。輸血に必要な血液を常に十分確保しておくには、絶えず誰かの血液が必要となります。

**全血献血の400mL 献血は17歳～69歳までの男性及び、18歳～69歳までの女性が献血できます。**

〔 65～69歳までのかたは、60～64歳までの間に献血経験のあるかたが献血可能。〕  
〔 200mL 献血は男女とも16歳以上から献血可能です。〕

また、一度測定等で断られても、日を改めることで献血可能になることがあります。

若年層の献血者が減少傾向にあり、今後の安定供給のためにも若い世代の協力が不可欠だそうです。ご夫婦で、恋人同士、友達と、もちろんひとりでも体調万全な時に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

献血ルーム利用時は、時間に応じて「大町共同パーク」の駐車サービス券が頂けるので、駐車時間を気にせず安心して利用できます。



	受付時間
全血	10:00～12:30 / 14:00～17:30
成分	10:00～11:30 / 14:00～16:30
定休日	12月31日 1月1日

職員の方が気さくに話しかけてくれるので、リラックスして献血ができました。  
コミック本もたくさんあり、アイスと飲み物とお菓子が満足。ポイントがたまると景品が貰えるのでそれもまた楽しみです。  
20歳代：女性



## 豆 知 識

みなさん、「雪間<sup>ゆきま</sup>」という言葉をご存知ですか？春が近づくと、地面を覆っていた雪が解け始め、黒々とした土がのぞくようになる。これが、「雪間」で俳句の春の季語です。また、その雪間から顔を出している植物すべてのことを雪間草といいます。

庭にあるこの雪間や雪間草を見ると、土の力強さと春風を肌に感じます。

「春が庭にやってきた」と小さい時から子ども達に話して聞かせてきました。我が家の子ども達は、大きくなった今でも、「お母さん、雪間が出てきたよ。春の足音が近づいてきたね」と話すのです。

俳句の先生に知り合えたおかげで、子ども達の俳句言葉の数が増えました。

みなさんの庭にも雪間がありませんか？

ボランティアスタッフ：阿保



## 編 集 後 記

今回「ふくろう通心50号」という記念すべき発行となり毎回読んでいただいている方々及び、このふくろう通心に様々なかたちで携わった方々に感謝しております。

10年前の発行当初からのスタッフが現在も参加されており、「車いすの体験もしたのよ」などの話を聞かされた時に当時のモチベーションの高さに頭が下がります。誰もが忘れることのできない「東日本大震災」はちょうど編集会議の最中に発生したそうで、その日の会議は鮮明に記憶されているようです。

足かけ3年の私はまだまだ未熟ですが「誰にでも分かりやすい紙面」を心がけ、まずは次の60号を目指し意識を向けていきたいと思っております。

小山



〈製作〉市民ボランティアスタッフ〈製作協力〉弘前市ボランティア支援センター  
〒036-8355 弘前市大字元寺町1-13 弘前市民参画センター内  
TEL: 38-5595 FAX: 36-1822  
HP: <http://www.hi-it/~vsc>

情報紙についての意見・感想をお待ちしております。